

## 4月6日（月） 2026年度春季リーグ戦第1節3回戦

### 【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
阪公大	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
奈学大	0	0	0	0	0	0	0	4	X	4

大阪公立大学(3塁側)

対

奈良学園大学(1塁側)

### 【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	4	府立生野	3	1	0	
2	遊	林	3	大阪明星	5	1	1	
3	二	田中大	3	彦根東	5	1	0	
4	一	菱田	3	関西大倉	4	1	1	
5	指	田中創	4	金沢桜丘	2	0	0	
	打指	前田	4	須磨学園	3	1	0	
	走	寺本	4	鳥取西	0	0	0	
6	三	越智	2	乙訓	3	1	0	
	打	中澤	3	丸亀	1	1	0	
7	右	野田	3	須磨学園	4	1	0	
8	捕	小田	3	一条	3	1	0	
9	左	川上	2	桐朋	1	0	0	
	打左	上岡	3	泉陽	1	0	0	
投		吉岡	4	大阪明星	-	-	-	
		利川	3	西大和学園	-	-	-	
		片山	4	府立池田	-	-	-	
		川田	4	奈良県立郡山	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	10	7	1	0	2	35	9	2

### 【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	二	河原	4	奈良大学附属	3	0	0	
2	三	米井	4	大阪商業大学堺	3	0	1	
3	中	小南	3	北陸	3	0	0	
	中	中條	2	上宮	1	0	0	
4	左	森	4	市立和歌山	3	1	2	
5	右	南	2	延岡学園	4	0	0	
6	一	北峯	4	奈良大学附属	3	3	0	
	走	貝辻	3	奈良商工	0	0	0	
	一	上田	4	鳴門	0	0	0	
7	指	門野	3	中京	3	0	0	
8	捕	石井	4	八戸学院光星	3	0	0	
	走	中田	3	上宮	0	0	0	
	捕	植木	3	大阪学院大学	0	0	0	
9	遊	川鯉	2	上宮	3	1	1	
投		矢川	4	日本航空石川	-	-	-	
		溝部	3	神戸国際大学附属	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	6	3	0	1	1	29	5	4

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
吉岡	5	69	17	17	2	2	0	0	0
利川	2	19	6	5	0	0	1	0	0
片山	1/3	27	6	4	2	2	2	4	4
川田	2/3	10	3	3	1	2	0	0	0
合計	8	125	32	29	5	6	3	4	4

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
矢川	6 1/3	113	29	24	6	8	4	2	2
溝部	2 2/3	40	14	11	3	2	3	0	0
合計	9	153	43	35	9	10	7	2	2

【戦評】

勝ち点を挙げ、約1ヶ月続くリーグ戦の好発進を切れるよう、一戦必勝で臨みました。

先制点を掴み取りたい攻撃は果敢に出塁を狙いますが、相手投手を捉えることができず1・2回を三者凡退で終えます。3回には野田（現3・須磨学園）が今季すでに6本目となる安打を放ちますが、後が続かず得点には繋げられません。

一方、先発の吉岡（法4・大阪明星）は粘り強い投球で相手打線を抑えます。2回には二死から安打を浴びますが、落ち着いて後続を断ちます。

チャンスが訪れたのは4回表、先頭の根来（経4・府立生野）が四球で出塁し、盗塁を決めます。そして、田中大（経3・彦根東）が安打で繋ぎ、一死一三塁のチャンス。ここで4番菱田（農3・関西大倉）がライトオーバーの適時二塁打を放ち、1点を先制します。

5回表には、四死球などで満塁のチャンスを作ります。ここは後続が倒れ無得点に終わりますが、攻めの姿勢全開で試合の主導権を握ります。

一方、好投を続ける吉岡は、3・4回をともに三者凡退に抑えるなど相手打線を引き寄せません。5回を投げ、許した安打は2本。二塁を踏ませないピッチングで先発の仕事をしっかりと果たし、マウンドを降ります。

6回から登板したのは昨日先発を務めた利川（経3・西大和学園）。テンポ良く三者凡退に抑えると、7回も併殺打により3人で終え、相手にチャンスを与えません。

7回表、一死から根来が安打を放つと、今季4個目となる盗塁を決めチャンスを作ります。そして、林がレフト線を破る二塁打を放ち、貴重な追加点を挙げます。8回には、二死から四死球や小田（医3・一条）の安打で満塁のチャンスを作ります。しかし、あと一本が出ずさらなる追加点とはなりません。

その裏、利川に代わり片山（生4・府立池田）がマウンドへ。先頭打者に安打を浴びると、振り逃げにより一死一三塁と本日最大のピンチを背負います。なんとか後続を抑えたいところでしたが、適時打や押し出しの死球により同点に追いつかれます。ここで後を川田（理4・奈良県立郡山）に託しますが、適時打を浴びさらに2失点。粘り切ることができず、一気に逆転を許します。

もう後がない最終回の攻撃。二死から菱田が死球で出塁すると、主将前田（現4・須磨学園）と代打中澤（工2・丸亀）が連打で繋ぎ、最後まで執念を見せます。一本が出れば追いつく二死満塁の絶好のチャンス。なんとか物にしたところでしたが、反撃敵わず試合終了。2-4で敗戦いたしました。